

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の報告

課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数	単位	本年度の目標値
②学校と地域の課題	青少年の健全育成	社会経験が乏しく、生活習慣や学習習慣に課題があり、規範意識や学力の低下にもつながっている。また、家庭によっては多世代交流や体験活動などの機会に偏りがある。	地域の方とのふれあい体験、あいさつと見守り活動、児童生徒のアイデアを活かした委員会活動等で規範意識の向上や規則正しい生活習慣の定着を目指すとともに、様々な体験活動を通して、児童・生徒の自尊感情を高める。	運営委員会や研修会等において、各校の取組を共有しあうことで、天理市全体としての現状や課題を把握しやすくなるようにするとともに、子どもたちの豊かな社会経験や生活習慣の改善に向けた取組のさらなる充実を図る。	地域人材を効果的に活用し、様々な体験活動や交流活動の機会を増やすことで、自分の居場所をより広い範囲から見つけられるようにする。また、経験から得られる自信によって児童・生徒の自尊感情を高める。	全国学力・学習状況調査「自分には、よいところがあると思いますか」という問いに対して、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた小・中学生の割合	84	%	88
③学校と家庭の課題	読書習慣の定着・読書体験の充実	学校や家庭で進んで読書をする児童・生徒が少ない。文章を的確に読み取る力や自分の考えを文章や言葉で相手にわかりやすく伝える力が弱い。	学力の基礎となる読解力を高めるため、図書ボランティアや読み聞かせボランティアと連携し、読書習慣の定着を目指す。また、保護者にも呼びかけ、家庭での「親子読書タイム」等を実施していく。	各校のHP等を活用し、地域に対して活動状況の周知を行うことで、地域のボランティア人材の発掘や育成を図り、読み聞かせ活動のさらなる拡充を目指し、読書習慣の定着を図る。また「親子読書タイム」等、家庭における読書習慣を定着させるべく、家庭と学校をつなぐシステムアプリを使用して呼びかけていくなど、保護者への広報活動も積極的に推進していく。	地域コーディネーターや活動支援員等と連携し、読み聞かせ活動や図書環境整備活動をさらに充実させ、本好きの児童・生徒を育てる。それにより、まずは文章に対する苦手意識を克服する。	全国学力・学習状況調査「国語の授業の内容はよく分かりますか」という問いに対して、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた小・中学生の割合	82	%	88